



立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39th Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>

November 2020

皆さんこんにちは！ いかがお過ごしでしょうか？

暑さの夏も去り秋が一段と深まってまいりました。

今年はCOVID対策に追われ1年がとても速かったように思われます。

4月からの自粛生活も最近ではすっかり日常化してしまいましたがヨーロッパをはじめとする世界各地では再び第2次の感染の拡大が起きています。

まだまだ予断は許せない状況でしょうか。

この間長期にわたり尽力を尽くされている医療関係に携われる皆様、私たちの日常生活を不自由なく支え続けて下さっているエッセンシャルワーカーの皆様にご心より感謝を申し上げます。

また、COVID関連で亡くなられた方々へ深い追悼の念を捧げつつ、今なお病床に付される方々の早期回復を祈念申し上げます。

長期にわたるこの状態に決して注意を怠ってはなりません、ただ不安に駆られ必要以上に恐れおののくのではなく、どこを注意して過ごせばよいのかをしっかりと見極め、手洗い、マスク着用、三密を避けるなどの予防を怠らずポイントをとらえた「正しく恐れる」姿勢が大切ではないでしょうか。

私たちはこうした現実世界に生き政治、経済、外交、などが大きく変化する中で社会生活を送っています。この中であって宗教は実際に「見える世界」と「見えない世界」をどうつなぎとめて行くかに大きな役割があります。

現代社会は「見える世界」を中心に置き「見えない世界」は忘れ去られたような感がありますが、仏教ではお釈迦様が深い瞑想を通じ、この世の中の本当の姿を「見える世界」のみならず、その奥の「見えない世界」に至るまで見通された「実相の世界」を悟られました。

私たちは在家仏教として日常の生活を送りながらその奥にある真理のはたらきを感じる努力に努めています。それでは、普通に暮らす人々との違いはいったいどこにあるのでしょうか。外見上は特別な服を身に着けているわけでもなく、TVをみたり、本を読んだり、PCや携帯で人と繋がっています。

違いはどこにあるのかと考えたとき私たちはいつも「仏様に生かされている」という実感と共に暮らして行こうとしている事ではないでしょうか。



毎日のご供養を通して「仏様に守られている」ことを実感し、感謝の心を育てていくことが在家修行者のつとめだと思います。

生活の中で起きる出来事に「仏様のはからい」を感じられると、何事もありがたく前向きな気持ちになれます。

今回のコロナ感染パンデミックのおかげでNYメンバーがZOOMを通じて出会い、共に学べるとは想像もしませんでした。COVIDのおかげで皆が繋がれたかと思うと、かえってコロナ菩薩への感謝です。

今後しばらくこの状況は続くと思いますが、めげずに前向きにこの機会を生かしたく思います。ヨットは風力で進みますがときに帆の角度の付け方で風上に向かって進むこともできます。逆風に感ずる状態も知恵と工夫によっては前進のエネルギーに変えられるわけです。

今年も余すところあと2か月となりました。そろそろ一年の反省とともに来年に向けた希望あふれる計画を考え始めたく思います。

合掌

2020年11月

ニューヨーク教会長

畠山友利

